

2 県立病院事業概況

平成24年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

平成24年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 126,406 人で前年度より 14,541 人(10.3%)減少し、外来は延べ 221,924 人で前年度より 2,939 人(1.3%)増加している。

病院別に見ると、入院では会津総合病院で増加し、矢吹病院外3病院で減少している。また、外来では矢吹病院、会津総合病院、南会津病院で増加し、喜多方病院外1病院で減少している。

なお、大野病院については、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により閉鎖している。

次に、診療科別に見ると、入院では外科、小児科、整形外科で増加し、内科外4診療科で減少している。また、外来では内科外6診療科で増加し、外科外3診療科で減少している。

(2) 施設設備の整備

ア 煙突改修工事(喜多方病院)、病院情報システムサーバー室工事(南会津病院)等の工事を行った。

イ 会津医療センター建築主体工事等を行った。

ウ CT装置(矢吹病院)、アンギオ装置(会津総合病院)、生化学自動分析装置(宮下病院)、病院情報システム(南会津病院)等の医療機器の購入整備を行った。

(3) 収支状況

平成24年度における総収益は 11,748,963 千円で、前年度と比較して 202,525 千円(1.8%)増加している。一方、総費用は 12,722,000 千円で、前年度と比較して 229,163 千円(1.8%)増加している。この結果、差引純損失は 973,037 千円となり、前年度と比較して 26,638 千円(2.8%)増加している。

また、医業収益の 7,824,101 千円から医業費用の 12,503,595 千円を差し引いた医業損益は△4,679,494 千円となり、損失額が前年度と比較して 385,036 千円(7.6%)減少している。この結果、総収益対総費用比率は 92.4%、医業収益対医業費用比率は 62.6%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 7,508,222 千円で前年度と比較して 158,016 千円(2.1%)増加したが、これは退職者の増などによるもので、医業収益に対する割合では 96.0%となり、前年度より 9.5 ポイント減少している。また、薬品費等の医療材料費については 1,773,294 千円で、会津総合病院における整形外科の患者増などにより、前年度と比較して 250,492 千円(16.4%)増加しており、医業収益に対する割合も 22.7%と前年度より 0.9 ポイント増加している。

累積欠損金は、前年度より 973,037 千円増加して 27,563,826 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 352.3%と前年度と比較して 29.2 ポイント減少している。なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 4,741,837 千円、資本的収入 1,020,397 千円で合計 5,762,234 千円となっており、前年度と比較して 73,915 千円(1.3%)減少している。